

別記様式(第5条関係)

令和 6年 3月18日

南国市議会議長

岩松 永治 様

議員名 山中 良成

令和 5年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり
令和 5年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和 5 年度政務活動費収支報告書

議員名 山中 良成

1 収 入

政務活動費 40,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	3,025	行政視察経費
研 修 費	11,590	研修会参加経費
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	19,140	書籍購入費
合 計	33,755	

3 残 額 6,245 円

(注) ・ 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・ 旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第1号様式

令和5年度 政務活動費 出納簿

議員名 山中 良成

(円)

整理 番号	月日	項目	摘 要	収入金額	支出金額	差引残高
	12.1		政務活動費	40,000		40,000
1	1.29	2	研修会参加 (1.29~1.30) 安芸市		11,590	28,410
2	2.7	1	行政視察 (2.7) 高松市 高速代、駐車場、レンタカー代		3,025	25,385
3	3.12	8	書籍購入「質問の一流、二流、三流」「サク ッとわかるビジネス教養ビジネスフレーム ワーク」「書いてはいけない日本経済墜落の 真相」「無理なく夢をかなえるサブスクとい うすごい仕組み」		6,600	18,785
4	3.14	8	書籍購入「選挙から平時の活動まで Q&A でわかる自治体議員の公職選挙法との付き 合い方」「何が投票率を高めるのか」「自治 を担う『フォーラム』としての議会」「自治 体予算の基本が 1 冊でしっかりわかる本」 「『国の借金は問題ない』って本当です か?」「日本を破滅に導くザイム真理教の大 罪」		12,540	6,245

※項目… 1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費
6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 山中 良成

整理 番号	1	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	2. 研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年 月 日	令和 6 年 1 月 2 9 日 (月) ~ 令和 6 年 1 月 3 0 日 (火)				
相手方・ 調査先等	研修会「四国若手議員の会 第3回研修会」(主催:四国若手議員の会)				
場 所	安芸市役所 新庁舎 (高知県 安芸市)				
活動内容 等 (目 的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	●行程 (1/29) 南国市=安芸市役所新庁舎=ホテル TAMA I 1 泊 (1/30) ホテル TAMA I=安芸市役所新庁舎=南国市 ●研修内容等 1 日目は、安芸市役所 財産管理課長 大坪純氏より「①安芸市役所新庁舎の防災拠点としての役割について」の説明を受け、本市とは違う免震であり、ヒノキ材も多く使用しており、高齢者も使用しやすい建物となっており、浸水もない場所に設置されているが、周りは施設園芸や田んぼであり、この周辺に企業等は誘致しない考えとお伺いしました。本市とは違いますが、都市計画をしっかりと考えた上で公共の建物を建築するべきであると改めて考えさせられました。次に研修②「地域担当職員制度」について安芸市役所 企画調整課長 大野崇氏より地域に根差した職員の事業説明を受け、地域の本当の声を職員が届けており、本市でも取り入れたいと考えているが、職員が嫌がる事を懸念している。研修③では、「限界集落で暮らす生業づくり」を題材に(有)はたやま夢楽 代表取締役社長 小松圭子氏より講演をいただき、限界集落や中山間地域問題は、安芸市だけでなく、本市でも同じであると実感しました。しかし、地元の土佐ジローを飼育し、食事として提供するだけでなく、ネット販売や宿泊場所をクラウドファンディングするなど自社努力して、この地域を守ろうとしている企業を安芸市は、もっと大切にし、一緒に問題解決をしていくべきであり、本市も、もっと応援できる環境づくりをしていくよう働きかけたいと考えております。これらの研修後、議員で意見交換会&グループディスカッションをし、内容の振り返りと共に他市町村の意見が聞けましたので、本市に取り入れていける部分は取り入れていきたいと思います。 2日目は、『誰もがしあわせになる「農福連携」農福連携は地域づくり』を題材に「こうち絆ファーム代表理事である北村浩彦氏より講演を聞き、南国市では障害者の農福連携はあるが、自殺予防のは初めて聞いたので衝撃を受けました。ここの連携は行政だけでなく医療や民生委員など多くの方が関わっており、本市でも繋げていくべきと勉強になりました。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	研修参加経費				
	宿泊費	ホテル TAMA I		7,590	
	日 当	1,600 円 × 2		3,200	
	その他				
合 計				10,790	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 山中 良成

整理 番号	2	項目	① 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 6 年 2 月 7 日 (水)				
相手方・ 調査先等	行政視察「高松型地域共生社会構築事業」				
場 所	高松市役所 (香川県 高松市)				
活動内容 等 (目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	●行程 (2/7) 南国市＝高松市役所＝南国市 ●面談者：高松市 健康福祉局 健康福祉総務課 地域共生社会推進室 室長補佐 入野谷直樹 ●研修内容等 高松市の課題と包括的な支援体制づくりの説明を受けたが、課題については本市と変わらないと感じました。次に高松型地域共生社会構築事業のイメージとしては、困っている人が「つながる福祉相談窓口」や「まるごと福祉相談員」が、住民の支え合いネットワーク (企業・自治会・地域コミュニティ協議会等) と他機関協働のネットワーク (司法・教育・障害・医療介護等) へと繋いでいくものであり、これが地域別にアウトリーチ・相談対応・情報収集提供・ネットワーク構築・世帯全体の支援コーディネートしている。本市でいうと民生委員だと思いました。ただ「まるごと福祉相談員」が15人で行っている事に驚愕しました。次に事業の取組状況について説明を受け、住民主体の支え合いのサービスである参加支援事業やつながる福祉相談窓口・暮らしのどんな困りごとにも対応できる仕組みづくりである「まるごと福祉会議」などのご説明を受けました。先ほども申しましたように本市の民生委員さんと似ておりますが、違うのが全庁でカバーしながら、全職員が対応しているところである。これは本市も真似をするというか取り入れなければならないところである。私も議員として地域に根差すようにしておりますが、さらに深くまでいこうしたいと思います。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額 (円)	
	南国市～高松西	高速代	3,010 円 (往路) ÷ 6 (山中 505、他 501)	505	
			3,010 円 (復路) ÷ 6 (山中 505、他 501)	505	
	駐車場代	300 円 ÷ 6 人		50	
	宿泊費				
	日 当				
	その他				
	レンタカー代	11,770 円 ÷ 6 人 (山中 1,965、他 1,961)		1,965	
	合 計			3,025	
備 考					